

題材内容資料について（平成 28 年度版教科書）

この資料は、年間指導計画の作成に必要な下記の内容を記載しています。
地域や学校の実情に合わせた年間指導計画のご作成にお役立てください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況　Ｂ）	学習指導要領との関連 A 表現　B 鑑賞　【共通事項】	道徳との関連
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.8～9 新鮮な視点でとらえよう (4～8 時間)	題材の目標 身近な風景をいろいろな角度から見つめ直し、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、視点や構図、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵や写真で表現する。 主な学習活動の流れ ○見慣れた風景を視点を変えて見つめ、新鮮な感動から主題を生み出す。 ○主題から風景に対する感情がより表れるよう、技法、構図、色彩など表現の構想を練る。 ○構想に沿って、材料や用具の特性を生かして絵や写真などで効果的に表現する。 ○友だちの作品を鑑賞し、視点を変えることの面白さを味わったり、表現の工夫などを話し合ったりする。	教師 画用紙 デジタルカメラ など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具　など	(知識・技能) 知 技 (思考・判断・表現) 発 鑑 (主体的に学習に取り組む態度) 態表 態鑑		

①分野

- ・分野は、教科書の構成の「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」に該当する内容を示し、それぞれの活動を「表現・鑑賞」または「鑑賞」に分類しています。

②ページ・題材名・配当時間の目安

- ・各題材の教科書掲載ページ、題材名を示しています。
- ・配当時間は、学校や生徒の実情に合わせて柔軟な取り扱いができるよう、基本的に幅を持たせて設定しています。

③題材の目標・主な学習内容

- ・各題材で学習する目標と、授業の流れに沿った主な生徒の活動を示しています。

④主な材料・用具

- ・授業で必要な主な材料や用具について、教師と生徒が準備するものをそれぞれ分けて示しています。

⑤題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況　Ｂ）

- ・各題材の観点別評価規準の例を示し、「おおむね満足できる状況」（Ｂ）について記載しています。
- ・観点別学習状況
「十分満足できる状況」と判断されるもの：Ａ
「おおむね満足できる状況」と判断されるもの：Ｂ
「努力を要する状況」と判断されるもの：Ｃ
- ・評価の観点及びその趣旨、評価規準の例の略号は、次のとおりです。

【評価の観点及びその趣旨】

観　点	趣　旨	略　号
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	知 技
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	発 鑑
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	態表 態鑑

【学年別の評価の観点の趣旨】

観　点	趣旨／第 1 学年	趣旨／第 2 学年・第 3 学年
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

国立教育政策研究所教育課程研究センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校 美術）』（令和 2 年 3 月）より https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_bijyut.pdf

⑥学習指導要領との関連

- ・各題材に該当する学習指導要領で示された領域や内容項目等を「Ａ表現」「Ｂ鑑賞」「共通事項」に分けて示しています。

⑦道徳との関連

- ・道徳と特に関連が深い題材について、「中学校学習指導要領解説　特別の教科　道徳編」を踏まえ、具体的な内容項目を示しています

分野	ページ・題材名・ （配当時間の目安）	題材の目標・ 主な学習活動の流れ	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況B）	学習指導要領との関連			道徳との 関連
					A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
絵や彫刻など（表現）	p.8～9 新鮮な視点でとらえよう （4～8 時間）	題材の目標 身近な風景をいろいろな角度から見つめ直し、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、視点や構図、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵や写真で表現する。 主な学習活動の流れ ○見慣れた風景を視点を変えて見つめ、新鮮な感動から主題を生み出す。 ○主題から風景に対する感情がより表れるよう、技法、構図、色彩など表現の構想を練る。 ○構想に沿って、材料や用具の特性を生かして絵や写真などで効果的に表現する。 ○友だちの作品を鑑賞し、視点を変えることの面白さを味わったり、表現の工夫などを話し合ったりする。	教師 画用紙 デジタルカメラ など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	（知識・技能） 知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、視点の組み合わせや位置による見え方の違いなどを基に、そこから生じる印象の変化を全体のイメージで捉えることを理解している。 技 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 視点の組み合わせや構図の工夫によるイメージの変化を基に主題を生み出し、構図などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に視点の違いによるイメージの変化などを基に構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現）	p.10～11 しぐさで語る動物たち （6～8 時間）	題材の目標 好きな動物や想像上の動物の特徴や動き、しぐさ、生命感などから主題を生み出し、構成や材料、用具の生かし方などを工夫して創造的に立体で表現する。 主な学習活動の流れ ○動物がもつ特徴などから表現の主題を生み出す。 ○生き生きとした動物を表すための形、色彩、材料、制作の手順などについて構想を練る。 ○構想に沿って材料や用具を工夫し、生き生きとした動物の姿を立体に表す。 ○友だちの作品を鑑賞し、作品から受ける思いについて話し合う。	教師 画用紙 針金 加工粘土 新聞紙 のり など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	（知識・技能） 知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、表情やしぐさなどを基に、生き物の印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 生命感や躍動感、動物の特徴やイメージを基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に動物の特徴やイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	D (19)
絵や彫刻など（表現）	p.12～13 響き合う言葉と絵 （3～7 時間）	題材の目標 自然や生活の様子から感じ取った思いなどから主題を生み出し、言葉と絵の組み合わせ、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵や写真で表現する。 主な学習活動の流れ ○自然や生活の様子から感じられることをメモやスケッチにまとめるなどして主題を生み出す。 ○感じた思いが効果的に表されるよう、構図や文章、文字の形や色彩についてアイデアスケッチを描きながら表現の構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして、表したい主題に合った表現方法を選び、効果的に表現する。 ○相互鑑賞を行い、作者の意図や工夫について考え、話し合う。	教師 画用紙 デジタルカメラ など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 書道用具 など	（知識・技能） 知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、言葉の意味や絵を組み合わせた全体のイメージで捉えることを理解している。 技 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 自然や生活の様子から感じ取った思いなどを基に主題を生み出し、言葉と絵の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい造形的なよさや美しさ、言葉と絵を組み合わせたイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 言葉と絵を組み合わせた表現に関心をもち、美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と自分の価値意識をもって創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	

分野	ページ・ 題材名 ・ （配当時間の目安）	題材の目標 ・ 主な学習活動の流れ	主な材料 ・ 用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）		学習指導要領との関連			道徳との 関連
						A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
絵や彫刻など（表現）	p.14～15 瞬間の美しさを形に （6～10 時間）	題材の目標 人物の動きから輝く瞬間などをとらえて主題を生み出し、動きの表し方、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に立体で表現する。 主な学習活動の流れ ○動きのある人物の姿から、心惹かれる場面をとらえてスケッチするなどして主題を生み出す。 ○主題がよりよく表されるよう、単純化や強調の仕方を工夫して、動きや躍動感が感じられるポーズや形を構想する。 ○構想に沿って適切な材料や用具を選び、その特性を生かしながら立体に表す。 ○完成した作品を鑑賞し、動きや躍動感を表現する工夫などについて話し合う。	教師 針金 麻ひも 加工粘土 など 生徒 筆記用具 スケッチ 用紙 絵の具 など	知 技 発 鑑 態表 態鑑	（知識・技能） 形などが感情にもたらす効果や、関節や重心の位置など造形的な特徴を基に、動きの感じや躍動感などを全体のイメージで捉えることを理解している。 材料の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 人の動きを深く見つめ感じ取ったことなどを基に主題を生み出し、形や重心の効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に人の動きの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に彫刻で表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現）	p.16～17 心でとらえたイメージ （4～8 時間）	題材の目標 心でとらえた感情や言葉の印象などから主題を生み出し、形や色彩の効果、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵や立体で表現する。 主な学習活動の流れ ○心でとらえた感情や言葉の印象などから主題を生み出す。 ○主題を基に、形や色彩、構成や材料の効果を生かし、単純化や強調などを考えながら表現の構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表す。 ○友だちや自分の作品を鑑賞し、主題をどう表したか作者の意図や工夫について話し合う。	教師 画用紙 針金 加工粘土 など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	知 技 発 鑑 態表 態鑑	（知識・技能） 形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、形や色彩の組み合わせを全体のイメージで捉えることを理解している。 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 感情やイメージなどの心の世界を基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に感情やイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（鑑賞）	p.18～19 名画の魅力に迫る （1～3 時間）	題材の目標 形や色彩、構図や人物の描き方などから、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、歴史に残る名画について理解や見方を深める。 主な学習活動の流れ ○描かれている事物や人、構図や色づかいなど、事実として共通に認識できるものについて意見を出し合う。 ○描かれた人物の表情やしぐさ、構図、図法の応用の仕方などから、作者の心情や意図と表現の工夫について意見を交換する。 ○友だちの意見や教師の解説、自分の気付きなどを踏まえ、感じ取ったことや考えたことをまとめる。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	知 鑑 態鑑	（知識・技能） 構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)ア (7)	(1)アイ	

分野	ページ・題材名・ (配当時間の目安)	題材の目標・ 主な学習活動の流れ	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との 関連
					A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
絵や彫刻など（鑑賞）	p.20～21 光が生むリアルとドラマ (1～3 時間)	題材の目標 光と陰影の効果などから、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方で味わう。 主な学習活動の流れ ○作品を鑑賞し、はじめに感じたことや、考えたことについて友だちと話し合う。 ○描かれた人物や、構図、光と陰影の表現や効果などを理解し、作者の心情や意図と工夫について意見を交換する。 ○友だちの意見や教師の解説、自分の気付きなどを踏まえ、感じ取ったことや考えたことをまとめる。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	(知識・技能) 知 構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 (思考・判断・表現) 鑑 造形的よさや美しさを感じ取り、光と陰影の表現や効果、バロック絵画のよさや特徴など、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)ア (7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現）	p.22～23 墨が生み出す豊かな世界 (2～5 時間)	題材の目標 感じ取ったことや考えたこと、墨のイメージなどから主題を生み出し、構図や墨の生かし方などを工夫して創造的に絵で表現する。 主な学習活動の流れ ○水の量や筆の動かし方などを試し、基本的な水墨画の技法を練習する。 ○墨に親しみながら、自然や身の回りの様子、文字の形とその意味などから発想し、表したい主題を生み出す。 ○構図や技法を意識しながら、墨の特性を生かし、工夫して表現する。 ○友だちや作家の作品を鑑賞し、そのよさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。	教師 和紙 色紙 絵皿 など 生徒 筆記用具 書道用具 など	(知識・技能) 知 水加減による濃淡や筆の運びによる線の勢いなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、墨などの単色によりつくり出されるイメージを全体で捉えることを理解している。 技 墨などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 (思考・判断・表現) 発 表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) 態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に墨などの特性を基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1) ア (7)	(1)アイ	C (17)
絵や彫刻など（鑑賞）	p.24～31 東へ、西へ… (1～3 時間)	題材の目標 日本と西洋の美術や文化が影響し合っていることや、相異や共通性に気付き、美術文化を継承し創造することの意義を理解する。 主な学習活動の流れ ○作品を鑑賞し、はじめに感じたことや、考えたことについて友だちと話し合う。 ○西洋の美術作品に影響を与えた日本の美術作品のよさや美しさはどのようなところにあったのか、制作された時代も視野に入れながら考え、意見を述べ合う。 ○日本や西洋の美術作品のそれぞれのよさや美しさを感じ、感じ取ったことや考えたことをまとめる。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	(知識・技能) 知 構図や色彩などが感情にもたらす効果や、日本美術や西洋美術の作風や印象がどのように生かされているかを、造形的な特徴を基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 (思考・判断・表現) 鑑 日本と諸外国の美術との相違と共通性に気付き、作者の意図と創造的な工夫や美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) 態鑑 日本と諸外国の美術との相違と共通性などに関心をもち、主体的に美術文化への理解を深め、国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)ア (7) イ (4)	(1)アイ	
絵や彫刻など（鑑賞）	p.32～33 漫画表現の豊かさ (1～2 時間)	題材の目標 日本の絵巻物や漫画に見られる表現方法を味わい、伝統の継承や創造の視点から漫画表現の特徴やよさをとらえ、日本の美術や文化に対する理解を深める。 主な学習活動の流れ ○漫画の多様な表現方法を鑑賞し、その効果について気付いたこと、感じたこと、考えたことについて友だちと話し合う。 ○線の表現に注目し、過去の日本の美術作品と漫画との共通点について気付いたこと、感じたこと、考えたことについて意見を述べ合う。 ○友だちの意見や教師の解説、自分の気付きなどを踏まえ、作者の心情や意図と工夫や、感じ取ったことなどをまとめる。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	(知識・技能) 知 コマ割りや構図などの漫画の表現の効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 (思考・判断・表現) 鑑 漫画表現のよさや特徴、美しさ、作者の心情や意図と工夫を味わい、伝統的な絵巻物などとの相違と共通性、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に漫画表現に関心をもち、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(2) ア (7)	(1)アイ	C (17)

分野	ページ・題材名・ （配当時間の目安）	題材の目標・ 主な学習活動の流れ	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との 関連
					A 表現	B 鑑賞	〔共通事項〕	
デザインや工芸など（表現）	p.34～37 日本の美意識 （4～8 時間）	題材の目標 目的や条件などを基に日本の美意識を生かした構成や装飾を考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。 主な学習活動の流れ ○和菓子や着物、屏風など、日本の風土に生まれ四季を意識した美術や工芸品のよさや特性について理解する。 ○日本の伝統的な工芸品からイメージを広げ、衣・食・住などの生活を美しく豊かにする工夫を考え、表現の構想を練る。 ○自然の材料の特性や、日本の伝統色を生かして、生活を美しく豊かにするためのものを制作する。 ○友だちや作家の作品を鑑賞し、そのよさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。	教師 木 加工粘土 和紙 はさみ 小刀 など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	（知識・技能） 知 形や色彩などが自然や季節を感じさせる効果や、造形的な特徴などを基に、造形物の美しさを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 季節感を取り入れた日本の伝統や、使う場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて形や色彩、材料などの効果を総合的に考え、表現する構想を練っている。 鑑 季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面などとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に生活に息づく美術の働きなどを基に、季節感を表す構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面などとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (7) (2)ア (7) (4)	(1)ア (4)	(1)アイ	
デザインや工芸など（表現）	p.38～39 情報をわかりやすく伝えよう （4～6 時間）	題材の目標 伝えたい内容が瞬時に伝わるように、形や色彩を単純化や強調し、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にサインやピクトグラムをデザインする。 主な学習活動の流れ ○身の回りにあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。 ○校内に設置することなどを想定し、あると望ましいサインやピクトグラムを発想し、単純化や強調を考え、伝わりやすい形や色彩の構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かし、サインやピクトグラムをデザインする。 ○作品を相互鑑賞し、よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、味わう。	教師 画用紙 コンピュータ プリンター デジタルカメラ など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 ペン など	（知識・技能） 知 形や色彩が感情にもたらす効果や、具体物や行為を表す形の特徴などを基に、伝達するイメージなどを捉えることを理解している。 技 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 伝えたい内容やイメージなどを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現する構想を練っている。 鑑 伝えたい内容やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝える目的や機能を考えてひと目で分かるピクトグラムの構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝えたい内容やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (4) (2)ア (7) (4)	(1)ア (4)	(1)アイ	
デザインや工芸など（表現）	p.40～41 豊かなイメージで伝えよう （4～8 時間）	題材の目標 伝えたい内容がイメージ豊かに伝わるように、構図や配色を考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。 主な学習活動の流れ ○ポスターやイラストレーション、ブックカバーなどを鑑賞し、メッセージやイメージを伝えるための工夫について考える。 ○意図が効果的に伝わるような構図やキャッチコピーなど、色彩や表現方法を考え、作品の構想をアイデアスケッチにまとめる。 ○アイデアスケッチにしたがって、描画材料の特性を生かし、美しく制作する。 ○作品を相互鑑賞し、よさや美しさ、相手に伝えるための表現の工夫などを感じ取り、味わう。	教師 画用紙 色画用紙 など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 ペン など	（知識・技能） 知 イラストレーションや写真、文字の形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達するイメージなどを捉えることを理解している。 技 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 伝えたい情報やイメージなどを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて形や色彩、イラストレーションや写真、文字による伝達の効果と調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え、表現する構想を練っている。 鑑 伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝える目的や機能を考えて美しく印象に残るポスターなどの構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (4) (2)ア (7) (4)	(1)ア (4)	(1)アイ	

分野	ページ・題材名・ （配当時間の目安）	題材の目標・ 主な学習活動の流れ	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況Ｂ）	学習指導要領との関連			道徳との 関連
					A 表現	B 鑑賞	〔共通事項〕	
デザインや工芸など（表現）	p.42～43 やさしさのデザイン （3～6 時間）	題材の目標 使いやすさや安全性、使用するものの気持ちなどを考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。 主な学習活動の流れ ○ユニバーサルデザインの考えについて理解し、それぞれの日用品の用途や機能と形の調和について考え、気付いたことをまとめる。 ○だれもが使いやすいという視点に立って日用品のデザインを考え、アイデアスケッチと説明文で構想を練る。 ○つくりたい日用品に合った材料や用具を使い、手順などを考え見通しをもって制作する。 ○作品を相互鑑賞し、作者の意図などを感じ取り、味わう。 ○だれもが豊かな生活を送るために大切なユニバーサルデザインについて考えをまとめる。	教師 画用紙 加工粘土 など 生徒 筆記用具 色鉛筆 ペン 絵の具 など	（知識・技能） 知形や色彩、材料などの性質や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 技材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発機能と美しさとの調和を基に、使う人や場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、人への優しさと形や色彩の美しさなどとの調和を総合的に考え、表現する構想を練っている。 鑑使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に使う人の立場や気持ちを考えて構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (ウ) (2)ア (7) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	B (6)
デザインや工芸など（鑑賞）	p.44～45 座ることから考える （1～2 時間）	題材の目標 いすのデザインを基に、その特徴や工夫されている点などから、機能性と美しさの調和などを感じ取り、自分の見方や考え方で味わう。 主な学習活動の流れ ○複数のいすをよく観察し、どのような人が、どのような場で使うものなのか、デザインの工夫について考え、意見を交換する。 ○豊かな生活を送るため、使う人や場面とのかかわりを考えたデザインについて考えをまとめる。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能） 知形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、作者の意図を全体のイメージで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 鑑使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態鑑美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)イ (7)	(1)アイ	
デザインや工芸など（表現）	p.46～47 手づくりを味わう喜び （6～10 時間）	題材の目標 素材がもつ特性や美しさを生かし、用途や機能、楽しさなどを考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。 主な学習活動の流れ ○身の回りにある手づくりの製品を鑑賞し、材料のよさや生かし方などについて考える。 ○材料の特性を生かし、用途や機能、美しさなどの視点から発想し、生活を豊かにするものを考え、アイデアスケッチにまとめる。 ○手になじむ感覚や使いやすさなどを考えながら材料や用具を工夫し、生活を豊かにするものを制作する。 ○作品を相互鑑賞して、よさや美しさ、作者の意図などを感じ取り、使って楽しむための工夫などについて話し合う。	教師 木材 皮革 木工やすり 紙やすり 小刀 ニス 布 染料 など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 彫刻刀 など	（知識・技能） 知材料の特性や質感、それらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や加工方法を基に、材料の持ち味を全体のイメージで捉えることを理解している。 技材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発材料のよさや美しさを基に、使う場面や機能などから主題を生み出し、使いやすさや機能と材料の特性や効果などとの調和を総合的に考え、表現する構想を練っている。 鑑使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に材料の特性や機能性などを生かしてつくることを考えて構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (ウ) (2)ア (7) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	C (17)

美術2・3上 学びの深まり 題材内容資料

表紙・オリエンテーション・特設ページ

ページ・題材名	掲載内容	ページの活用方法
表紙 孔雀	○全図を見ると、右側をトリミングしたことで動きが出て、羽根が震わされているようにも見える。上下の間の取り方や構図の工夫、羽根の丸い模様が外側に行くにつれて感覚が広がって描かれている。	○グループでの話し合いを中心にお互いの意見を交流し、イメージを広げ鑑賞を深めていく。
p.2～4 オリエンテーション 学びを深めよう	○技法を使って作品に形や色彩を与え、そこからイメージを広げていく手法を用いた二人の作家(井上直久、マックス・エルンスト)を中心に紹介している。	○作品をじっくりと見つめ、どのように作者が作品をつくっているか、その意図と工夫を考えて、自分自身の表現を豊かにするヒントを得るきっかけとしたい。 ○何かをつくるとき、主題の設定、発想、創造活動という順で進めるだけでなく、ときには順番を入れ替えて進め、イメージを広げていくことも必要であることを理解させたい。
p.6～7 オリエンテーション 表現の可能性を求めて	○美術表現に用いる材料は、特別に用意されたものばかりではない。材料がもともと持っている特性を作家がどのように生かしたか、表現題材を学習する際のヒントとなる作品や、じっくり読み取るのにふさわしい作品を取り上げている。	○表現にはいつも適した材料が用意されているわけではなく、材料を選ぶことも大切な表現のプロセスであることを理解させたい。材料の特性を生かして制作するということは、重さや固さを利用して、見たままの印象から意外性を生み出すことにもつなげることができる。
p.48～49 まちを彩る パブリックアート	○日本の各地にあるパブリックアートを鑑賞し、人々の暮らしと美術の関わりについて学習する。 ○街角や公園など人々が集い、行き交う場所にアートを設置する意味についての考えを深める。	○パブリックアートを鑑賞し、はじめに感じたことや、考えたことについて友だちと話し合う。 ○周囲の景観との調和や設置の効果などからパブリックアートを鑑賞し、気付いたことや考えたことなどを友だちと話し合い、まとめる。
p.50～52 日本美術の展開と 世界との交流	○各時代の代表作品を当時の時代背景や、最先端の表現であるという前提で鑑賞することを通し、現代の新しい美術表現に関しても学習することができる。	○様々な表現方法があるということに気付く授業資料としても活用できる。 ○美術史の流れを学習する場面で扱ってもよい。

巻末資料 (技法など)

ページ・題材名	掲載内容	ページの活用方法
p.53～54 現代に受けつがれる浮世絵版画	○日本独自の技法である多版多色刷版画について手順を図と解説で説明している。	○「東へ、西へ…」(p. 24～31) の学習で、浮世絵の作品を鑑賞する際に、浮世絵版画の制作工程を理解させる資料として活用したい。
p.53 水墨画の技法	○「墨の濃淡の調節」「筆の使い方(運筆法)」「没骨法・破墨法・積墨法」など代表的な技法を紹介している。	○水墨画の技法については、「墨が生み出す豊かな世界」(p. 22～23) をはじめ、資料として活用したい。
p.54 粘土でつくる	○人物の動きを彫刻に表す制作について、手順やコツなど図と解説で説明している。	○粘土で人物をつくる場合は、針金を心材として使う場合が多い。このページを活用し、心材の固定の仕方について確認させたい。
p.55 木でつくる	○木工の技法では、「接合」について「接着剤を使って」、「くぎを打って」、「組んで」行う方法について示した。手順やコツなど図と解説で説明している。	○木工の接合では、くぎを使う場合もある。制作に入る前にこのページを活用し、正しい接合の仕方について確認させたい。
p.55 金属でつくる	○板金について「打ち出す」「切る」方法を、手順やコツなど図と解説で説明している。	○金属を用いた制作の導入場面や、道具の説明などのときに扱いたい。
p.56～57 色について理解を深めよう 配色 日本の伝統色	○「同一色相による配色」「類似色相による配色」「対照色相による配色」「補色色相による配色」を作例と色相環の色の位置とともに紹介している。 ○「主調色」「強調色」「セパレーション」について作例を示し、説明している。 ○伝統的な色名の一例として 15 色を写色見本とともに紹介している。 ○代表例として「赤漆の器」「碧瑠璃杯」「浅葱麻地流水草木軒端模様帷子」を示している。	○配色を考えて構想するデザインなどの学習をする際の導入として活用したい。 ○日本の伝統色のページは、「日本の美意識」(p. 34～37) などの我が国の美術に関する表現や鑑賞の授業の際に活用したい。